

モニタリング結果報告書 (平成27年度)

1. 施設概要

施設名	県民ホール（本館・神奈川芸術劇場）		
所在地	本館：横浜市中区山下町3-1 神奈川芸術劇場：横浜市中区山下町281		
サイトURL	本館 http://www.kanagawa-kenminhall.com/ 神奈川芸術劇場 http://www.kaat.jp/		
根拠条例	神奈川県立県民ホール条例		
設置目的(設置時期)	県民の文化芸術の振興及び福祉の増進を図るため (本館：昭和50年1月、神奈川芸術劇場：平成23年1月)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川芸術文化財団		
指定期間	平成23年4月1日～28年3月31日 (神奈川芸術劇場は、平成22年4月1日～28年3月1日)	施設所管課	文化課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>平成27年度実績では、提案に基づき県民ホール本館と芸術劇場を一体として活用する管理運営が行われている。また、施設の利用者数は、本館・芸術劇場ともに目標値を達成しており、利用者アンケートで不満と評価した意見もない。事故・不祥事等については数件見受けられたが、重大な事故は発生しておらず、業務については適切に行われている。なお、3項目評価は利用状況、満足度、収支状況の評価結果からA評価となった。なお、今年度実施された、包括外部監査での指摘等については、対応を進めている。今後も、引き続き適切な管理運営に努めていく。</p> <p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 提案書に基づき、県民ホール本館と神奈川芸術劇場を一体運営として活用する事業として、5月にはオープンシアター2015を実施したほか、10月には神奈川国際芸術フェスティバルを実施した。また、県民ホール本館は、開館40周年事業として、例年より大規模な公演を実施した。</p> <p>◆利用状況 本館は、開館から40周年を迎え、周年事業など大規模な自主事業を実施した結果、利用者数の目標達成率は101.4%であった。なお、前年対比では178.1%となったが、これは平成26年4月から9月までの半年間、工事に伴う休館中だったためである。 また、芸術劇場も開館から5年目となり、利用者数は目標達成率113.8%、前年対比では106%となり、2館合計では目標値820,000人に対して、33,208人の増となり、目標達成率が104%となったため、A評価とした。</p> <p>◆利用者の満足度 本館は10月～11月、芸術劇場は11月にそれぞれ実施し、2館の合計で、上位2段階の回答割合が100%となったためS評価とした。回収率は、55.1%となった。アンケートの実施にあたっては、利用者幅広く回答してもらえるよう使用申込時に直接手渡すなど工夫した結果、回収率はわずかに前年を上回った。引き続き、丁寧な対応に努めていただき、回収率の向上に努めていただきたい。</p> <p>◆収支状況 当初予算と比べて、2館を合わせた利用料金収入は増加したものの、事業収入が当初予算の見込みに及ばず収入の減となった。また、主催公演の事業製作にかかる費用が減少したことなどから支出も減となり、収支比率は、2館合計で101.4%となったためA評価とした。</p> <p>◆苦情・要望等 喫煙場所についての説明不足や神奈川芸術劇場のレストランが営業していないなど設備に関する声が寄せられたが、喫煙場所についてはwebなどでの説明を掲載するなどの対応策を講じ、サービス向上につなげた。また、レストランについては平成28年4月より営業を開始している。</p> <p>◆事故・不祥事等 6月6日に主催公演の上演中に舞台セットが一部破損し、公演が一時中断する事故が発生した。本件によるけが人はなく、公演は20分遅れで上演され無事終了した。事故の原因はスタッフの操作ミスによるものと思われるもので、一義的には指定管理者に責任があるため、再発防止に向けて注意喚起を促した。その他に、指定管理者の責に帰さない設備などの故障や破損などの事故が数件発生したものの、適切に対応がとられており、良好な管理が行われている。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 平成26年度を対象とした包括外部監査において、神奈川芸術劇場の残業、振替休日の取得について指摘があった。現在、状況確認を行うとともに、対応方法について検討を行っている。</p>

3項目評価	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう
A	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	月3～4回	なし
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容
		なし

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>1. 一体運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本館と芸術劇場を一体運営し、施設を有効活用した総合的なプログラムの企画や様々なニーズに応えられる運営を行い、賑わいの創出を図る。 ・本館と芸術劇場で組織の統合・集中化や委託業務の共通化により、サービスの向上や事業の効率化を図る。 	<p><実施状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・両館で連携して、「神奈川国際芸術フェスティバル」を実施し、両館および音楽堂との一体的な盛り上がりに取り組んだ。 ・毎年開港祭の時期に合わせて実施している「オープンシアター」を、今年度も両館で連携して実施した。本館ではバレエ公演やオルガンコンサート、芸術劇場では美術作品の展示を実施したほか、それに伴う様々なワークショップやイベント、バックステージ・ツアー等も同時開催し、普段見る機会のない劇場の裏側を含め、多面的に両施設の紹介を行うことにより、気軽に劇場に親しんでいただく機会を設けた。 ・芸術劇場主催のワークショップにおいて、本館の大会議室を活用するなど相互の施設の有効活用を図った。 ・公演後に立ち寄れる飲食店を紹介するマップを両館とも配布し、サービス向上と地域の賑わいの創出の一助となった。 ・全体的な広報営業業務を、広報営業課において一元的に行い、それぞれで開催される催しに互いのチラシを挟み込む等、公演告知の強化に取り組んだ。 ・利用受付業務において、利用者に互いの施設や駐車場の案内紹介を行うとともに、備品を融通しあう等、効率的な運営に努めた。 ・チケットセンター業務を、音楽堂を含めた3館一括のシステムで運用したほか、清掃、受付案内、駐車場管理、保安警備、各種保守点検の業務も、県民ホール両館で同一業者に委託するなど、業務効率化と経費削減を図った。 	
<p>2. 適切な管理運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用料収入増及び経費の節減に努めるとともに、サービスの向上に取り組むなど適切な管理運営に努める。 ・また、防犯、防災対策、安全対策にも取り組んでいく。 	<p><実施状況></p> <p>【サービス向上への取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民ホール開館40周年のプロモーションとして、40周年記念誌を発行し、各所への送付を行った。また記念グッズの販売、特設ウェブサイトの開設、駅での看板設置等の広報活動を昨年度から引き続いて展開した。（本館） ・年末年始の開館日設定、開館時間の柔軟な対応、開館15分前の南口玄関の開放のほか、大ホール上階席へ階段での移動が困難な方に対して職員用エレベーターに専用案内係を配置しての対応を継続的に行なった。 また、大ホールでの高齢者の多い公演において、6階直通の来館者用エレベーターのうち1機を占有して、3階席へ直接ご案内するサービスを継続し、好評を得ている。車で来館される障害者の方には障害者用駐車場の電話予約を受付けるなど、利便性に配慮して柔軟な対応を行った。（本館） ・合同施設を構成する NHK 横浜放送局や県とも、定期的に情報交換の場を設け、アトリウムでの催し物の調整を図り、来館者や利用者の安全に心がけた。また、横濱ジャズプロムナードの公演をホール、大スタジオで実施し、NHK横浜放送局のジャズライブとともに全館が横濱ジャズプロムナードのコンサート会場となる合同イベントを実施した。（芸術劇場） 	<p>本館では、バリアフリー対応など古い施設特有の課題があるが、それを補うため、指定管理者による、きめ細やかな対応がなされており、評価できる。</p>

	<p>【両館共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託先との定期的なミーティングにより情報共有をしながら施設の利用状況に応じた設備点検や清掃などを行い、受付案内業務についてもレセプション定期モニタリングを実施し、来館者へのサービス向上、業務内容改善に取り組んだ。 ・アマチュアの利用者には施設の特徴を十分に説明し、利用方法を丁寧に説明することや、下見・打合せを丁寧に実施することでトラブルの回避に努めた。 ・年間で必要な設備点検の日程をずらして、利用希望者の日程を確保するなど、柔軟な利用調整に努めた。 ・来館者、利用者アンケートを常時実施、ホームページ上での「お問い合わせ」コーナーの設置等、要望やクレームに細やかかつ迅速に対応し、苦情原因の是正及びその予防に努めている。 ・若い世代の来館機会が増えるよう、ほぼすべての主催公演において託児サービスを実施し、幼児向けのイベント等では、仮設授乳室の設置も行っている。 	
<p>3. 自主的な企画事業について</p> <p>【本館】</p> <p>平成26年度に続き12月のオペラ「金閣寺」まで開館40周年記念事業を実施する。大ホールではオープンシアターを実施、27年度はバレエをテーマに、東京バレエ団《子どものためのバレエ『ねむれる森の美女』》をオーケストラ版で初演する。国内バレエ公演では松山バレエ団『眠れる森の美女』、開館40周年記念事業クロージング公演として日本のオペラ作品を取り上げ、自主制作オペラ『金閣寺』を実施する。そして年末には恒例の「ファンタスティック・ガラコンサート」、3月にはびわ湖ホールとの共同制作オペラとしてワーグナー作曲『さまよえるオランダ人』を開催。共催公演でも同様に、オペラ、バレエを中心とした大ホールの特性を活かした公演を開催する。</p>	<p>【大ホール】</p> <p>●主催事業</p> <p>【5月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホプシター2015 子どものためのバレエ『ねむれる森の美女』入場者数：4,140人 <p>【6月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共催公演「熊川哲也 Kバレエカンパニー <15周年記念クライマックス>『海賊』全2幕」入場者数：1,581人、「神奈川フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会県民ホールシリーズ 第4回」入場者数：1,221人 <p>【8月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共催公演「横浜バレエフェスティバル～バレエの“力”が8.19に“かながわ”へ集結！～」入場者数：1,382人 <p>【9月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共催公演「第24回首都オペラ公演『トゥーランドット』」入場者数延べ：3,284人、「神奈川フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会県民ホールシリーズ 第5回」入場者数：1,457人 <p>【10月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DanceDanceDance@YOKOHAMA2015パートナー事業 松山バレエ団『眠れる森の美女』全幕 入場者数：1,673人 ・共催公演「バットシェバ舞踊団『DECADANCE-デカダンス』」入場者数：1,612人、「第35回芸術舞踊展 モダン&バレエ2015」入場者数：1,311人、「東京バレエ団『ドン・キホーテ』全2幕」入場者数：1,850人 <p>【11月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オペラ『金閣寺』関連企画～音楽講座 黛敏郎と「金閣寺」（大会議室）入場者数：47人 ・オペラ『金閣寺』関連企画～文学講座 三島由紀夫と「金閣寺」（神奈川近代文学館）入場者数：86人 ・オペラ『金閣寺』関連企画～朗読劇 日本語による朗読劇「金閣寺」入場者数：192人 ・共催公演「第64回神奈川文化賞・スポーツ賞贈呈式」入場者数：1,633人 <p>【12月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県民ホールオペラシリーズ2015 黛敏郎 作曲／三島由紀夫 オペラ『金閣寺』全3幕 入場者数延べ：2,724人 ・ファンタスティック・ガラコンサート2015、入場者数：2,086人 ・共催公演「神奈川フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会県民ホールシリーズ 第6回」入場者数：1,871人、「シルヴィ・ギエム&東京バレエ団シルヴィ・ギエムファイナル横浜公演」入場者数：2,398人 	

	<p>【1月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共催公演「(公社)日本バレエ協会関東支部神奈川ブロック第32回自主公演『白鳥の湖』全幕」入場者数：2,077人、「ミハイロフスキー劇場バレエ『白鳥の湖』」入場者数：1,428人、「ロシア国立ワガノワ・バレエ・アカデミー『くるみ割り人形』全3幕エピソード付」入場者数：1,606人、「神奈川フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会県民ホールシリーズ第7回」入場者数：1,032人 <p>【2月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共催公演「團伊玖磨作曲 オペラ『夕鶴』全1幕」入場者数：1,565人 <p>【3月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県民ホールオペラシリーズ2016共同制作オペラ ワーグナー作曲 歌劇『さまよえるオランダ人』全3幕、入場者数延べ：2,776人 ・歌劇『さまよえるオランダ人』関連企画 公開リハーサル&ステージ見学、入場者数：175人 	
<p>小ホールでは、一柳慧芸術総監督プロデュースによる室内楽公演「FLUX Quartet」、オルガンコンサートの入門編「オルガン・ブロンナード・コンサート(無料)」、有料の「オルガンリサイタル」「オルガン・クリスマスコンサート」を実施。また普及啓発事業としてオルガン、オペラ、チェンバロを題材とした舞台芸術講座、近隣ホールと連携したオルガン体験ツアー、地域の芸術団体や大学等による共催公演を実施し、幅広い層へ鑑賞機会を提供していく。ギャラリーでは「神奈川県美術展」を開催。主催の企画展としては、国内外で活躍する気鋭の現代作家・鴻池朋子の大規模な個展を開催する。</p>	<p>●小ホール】</p> <p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オルガン・ブロンナード・コンサート Vol. 338 4月24日(金) 入場者数：400人 <p>【5月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープンシアター2015オルガン・ブロンナード・コンサート Vol. 339、入場者数：956人 ・共催公演「日本オルガニスト協会全国大会2015シンポジウム『コンサートホールで育まれる日本のオルガン文化』クローゼンク・コンサート 山上はるオルガン演奏会」入場者数：184人、「第34回かながわゴールドコンサート2015」入場者数延べ：836人 <p>【6月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オルガン・ブロンナード・コンサート Vol. 340、入場者数：190人 ・共催公演「第25回国際国際オルガン・フェスティバル・イン・ジャパン2015横浜公演」入場者数：181人、「フェリス・音楽の花束『イタリヤに憧れて』」入場者数：251人 <p>【7月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県民ホールワゴン・コンサート「音楽のおくりもの 岩見玲奈と仲間たちによるミラクルサマーコンサート」、入場者数：400人 ・オルガン・ブロンナード・コンサート Vol. 341、入場者数：200人 ・共催公演「横浜シティオペラ歌曲コンサートシリーズ'15『歌曲の花束』」入場者数延べ：410人 <p>【8月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オルガン・ブロンナード・コンサート Vol. 342、入場者数：280人 <p>【9月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長谷川美保オルガン・リサイタル～バッハへの道・バッハからの道 入場者数：188人 ・オルガン・ブロンナード・コンサート Vol. 343、入場者数：240人 <p>【10月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一柳慧プロデュース FLUX Quartet 入場者数：200人 ・オルガン・ブロンナード・コンサート Vol. 344、入場者数：270人 ・共催公演「ハイブオルガン・コンサート&体験見学ツアー」入場者数：40人、「フェリス・音楽の花束『ピアノ・ナイト145』」入場者数：177人 <p>【11月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オルガン・ブロンナード・コンサート Vol. 345、入場者数：210人 <p>【12月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オルガン・クリスマスコンサート、入場者数：432人 ・オルガン・ブロンナード・コンサート Vol. 346、入場者数：190人 <p>【1月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オルガン・ブロンナード・コンサート Vol. 347、入場者数：250人 <p>【2月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オルガン・ブロンナード・コンサート Vol. 348、入場者数：350人 <p>【3月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県民ホール ワゴン・コンサート音楽のおくりもの 毛利文香 ヴァイオリン・リサイタル、入場者数：373人 	

	<p>●ギャラリー</p> <p>【5月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホプソワター2015ギャラリーワークショップ 猫の手とみんなの手も借りたい！鴻池朋子と描く「オオカミのお腹の中」入場者数：15人 <p>【7月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共催事業「日本現代工芸美術展 併催展：魅惑の江戸簪～三代目上村康重作品展」入場者数延べ：1,891人 <p>【9月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第51回神奈川県美術展「1期展(平面立体部門)・中高生特別企画展」入場者数延べ：2,114人 ・第51回神奈川県美術展「2期展(工芸・書・写真部門)・中高生特別企画展」入場者数延べ：2,933人 <p>【3月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共催事業「META real」入場者数延べ：155人(※会期は4月10日まで) 	
<p>【芸術劇場】</p> <p>白井晃アーティストック・スーパーバイザーを迎えた2年目として、創る劇場として、あらたなKAATらしさを再構築してゆく。</p> <p>専門スタッフを擁する、KAATの総合力を活かし、全国の地方公共劇場の代表館を目指す。27年度も昨年から引き続き、地方公共劇場との連携を数多く実施する。また、東京では観られない作品を意識的にラインナップすることで、文化の東京一極集中ではなく、地方から創造し、発信できる創造型劇場を目指す。</p> <p>平成27年度は、大型の公演として、栗山民也・演出「アドルフに告ぐ」白井晃・演出「パール・ギュント」ラサール石井・演出「HEADS UP!」錦織一清・演出「The Musical 横浜 JAM TOWN」をオリジナル企画として上演。また、9月～10月の期間には、KAATダンスシリーズとして、国内外から一級のアーティストを招聘したダンス企画を開催する。</p> <p>これらの作品は、すべて東京での開催は行わず、ヨコハマに足を運んでもらう事を意識した事業展開を図る。</p> <p>開館以来4年間をかけて取り組んできた様々な事業を礎として、舞台芸術の様々な魅力に触れることのできる劇場を引き続き目指していく。</p>	<p>●ホール</p> <p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・劇場体験型ナゾ解きゲーム KAAT the ツアーfor キッズ!『ピノキオと謎の芝居小屋2』入場者数延べ：640人 ・提携事業「ザ・が～まるちよばカンパニー1st JAPAN TOUR」入場者数延べ：2,378人 <p>【5月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提携公演「黒蜥蜴(くろとかげ)」入場者数延べ：4,264人(一部公演は、9月に延期して実施) ・提携公演「FINAL LEGENDⅢ-THE CHOREOGRAPHY HALL OF FAME-」入場者数延べ：2,338人 <p>【6月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞台『アドルフに告ぐ』入場者数延べ：8,345人 <p>【7月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KAAT神奈川芸術劇場プロデュース『パール・ギュント』(白井晃演出)入場者数延べ：6,939人 <p>【8月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンフェティ劇団『秘密のショートケーキ』入場者数延べ：420人 ・提携公演「マクベス」入場者数延べ：1,670人 <p>【9月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提携公演「ミュージカル『マリアと緑のプリンセス』」入場者数：1,719人 <p>【10月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カンパニーマリー・シュイナール『春の祭典』『アンリ・ミショーのムーヴマン』入場者数延べ：905人 ・デボラ・コルカー・カンパニー『ベル』入場者数延べ：972人(一部11月にも実施) ・「JAM TOWN」プレ企画A New Musical JAM TOWN The LIVE(会場：東京公演 duo MUSIC EXCHANGE横浜公演 THUMBS UP)入場者数延べ：368人 ・提携公演「KERA・MAP#006『グッドバイ』」入場者数延べ：2,138人 <p>【11月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・21世紀の『上を向いて歩こう』Young person's guide to 'Hachidai-san' 入場者数：605人 ・KAAT神奈川芸術劇場プロデュースミュージカル『HEADS UP!』入場者数延べ：10,217人 <p>【12月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提携公演「ブロードウェイミュージカル『フロッグとトード』がま君とかえる君の春夏秋冬」入場者数延べ：3,740人 <p>【1月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KAAT神奈川芸術劇場プロデュース A New Musical「JAM TOWN」入場者数延べ：9,336人 <p>【2月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提携公演「Nosim1×Noism2合同公演 劇的舞踊『カルメン』再演」入場者数延べ：1,121人 	

●スタジオ

【4月】

- ・提携公演「マームとジプシー『ヒダリメノヒダ』」(大スタジオ) 入場者数延べ: 1,535人
- ・提携公演「TAK in KAAT劇団よこはま老座 第10回公演『闇に咲く花ー愛敬稲荷神社物語ー』」(大スタジオ) 入場者数延べ: 636人
- ・提携公演「TAK in KAAT 神奈川県演劇連盟プロデュース『パンクドラムカー』」(大スタジオ) 入場者数延べ: 704人 (一部5月実施)

【5月】

- ・提携公演「岩井秀人×快快『再生』」(大スタジオ) 入場者数延べ: 2,152人

【6月】

- ・Noisml 近代童話劇シリーズvol.1「箱入り娘」(大スタジオ) 入場者数延べ: 926人

【7月】

- ・おいしいおかしいおしばい「わかったさんのクッキー」(中スタジオ) 入場者数延べ: 2,200人 (※一部8月に実施)

【8月】

- ・親子のためのファミリー・ミュージカル『ピノキオ〜または白雪姫の悲劇〜』(大スタジオ) 入場者数延べ: 2,026人
- ・提携公演「ロシア国立ワガノワ・バレエ・アカデミー教師による特別レッスン in Japan」(中スタジオ) 入場者数延べ: 59人、「KUNIO12『TATAMI』」(大スタジオ) 入場者数延べ: 1,158人

【9月】

- ・アロリー・ゴエルジエ&アントワヌ・トウフォル『GERMINALージェルミナル』(大スタジオ) 入場者数延べ: 398人
- ・JulieNioche/A. I. M. E.《NosSolitudes》(大スタジオ) 入場者数延べ: 151人
- ・提携公演「avecoc 新作公演『残月の涙遊女阿部屋清花』」(大スタジオ) 入場者数延べ: 1,222人、「勅使川原三郎 新作ダンス公演『ミズトイノリーwater angel』」(中スタジオ) 入場者数延べ: 540人
- ・提携公演「Co. 山田うん新作公演『舞踊奇想曲モナカ』」(大スタジオ)、入場者数延べ: 607人

【10月】

- ・KAAT次世代への古典芸能プロジェクトKAAT 竹本駒之助公演第5弾『鎌倉三代記』八ツ目切「三浦別の段」(大スタジオ) 入場者数延べ: 276人(一部11月に実施)
- ・提携公演「室内Interieur」(大スタジオ) 入場者数延べ: 440人、「大方斐紗子エディットピアフに捧ぐ」(大スタジオ) 入場者数延べ: 318人

【11月】

- ・提携公演「ヨーロッパ企画 第34回公演『遊星アンホープの接近』」(大スタジオ) 入場者数延べ: 974人

【1月】

- ・共催公演「マグカル・パフォーミングアーツ・アカデミー新春特別講座 宝塚歌劇団演出家・植田景子さんによる公開ワークショップ&特別トークショー」(大スタジオ) 入場者数延べ: 348人、「マグカルPresents 神奈川かもめ短編演劇祭」(大スタジオ) 入場者数延べ: 739人
- ・提携公演「マグカルシアター in KAAT『THE GAME OF POLYAMORY LIFE』」(大スタジオ) 入場者数延べ: 676人、「フィジカルシアターカンパニー GERO旗揚げ公演『くちからでる』」(大スタジオ) 入場者数延べ: 504人

	<p>【2月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KAAT次世代への古典芸能プロジェクトKAAT 竹本駒之助公演第6弾『日蓮聖人御法海』三段目切「勘作住家段」(大スタジオ) 入場者数延べ：243人 ・提携公演「国際交流基金 障害×パフォーマンス」アート特集2016『Dividual Plays ティヴィジュアル・プレイス-身体の無意識とシステムとの対話』(大スタジオ) 入場者数延べ：412人 <p>【3月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KAAT次世代への古典芸能プロジェクトKAAT 若手舞踊公演「SUGATA」『新説西遊記～猪八戒と沙悟浄～』(大スタジオ) 入場者数延べ：641人 ・KAAT神奈川芸術劇場×KYOTO EXPERIMENT 共同製作 地点『スポーツ劇』(大スタジオ) 入場者数延べ：1,112人 <p>●複数施設利用</p> <p>【5月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープンシアター2015 KAAT突然ミュージアム(全館) 入場者数延べ：1,616人 <p>【10月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜JAZZ PROMENADE2015(ホール、大スタジオ) 入場者数延べ：5,603人 <p>●国際舞台芸術ミーティングin横浜 2016 (TPAM in Yokohama 2016)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TPAMコプロダクション ビ・チェ・クランチェン「Dancing with Death」(ホール) 入場者数延べ：549人 ・TPAMコンテンポラリー・クラシックス SPAC「マイストと呼ばれた男」(ホール) 入場者数：373人 ・TPAMコプロダクション マーク・テ「Baling」(大スタジオ) 入場者数延べ：249人 ・TPAMコンテンポラリー・クラシックス キム・ミンギ×キム・シジョン×ムン・メント・タン「2016工場のともしびー劇場デモ」(大スタジオ) 入場者数延べ：217人 ・TPAMディレクション/タン・フケン ディレクション ホールイ・アン「Solar: A Meltdown」(中スタジオ) 入場者数：186人 ・TPAMディレクション/コ・ジユン ディレクション コン・ハソル×グリー・ヒョク「語りの方式 歌いの方式ーデモバージョン」(小スタジオ) 入場者数延べ：293人 	
<p>4. 事業の収支バランスの安定を図る取組み ・指定管理料以外の収入確保の取組みを図る。</p>	<p>広報宣伝・営業、チケット販売等の強化により事業収入の確保に努めるとともに、外部資金の獲得にも努め、収支バランスの安定を図った。</p> <p>【外部資金獲得状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人賛助5,700千円、個人賛助210千円、個別協賛4,415千円、広告協力550千円、チケット買入協賛122千円 <p>※上記は、財団全体・年間での実績値。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金・助成金 <p>【文化庁】劇場音楽堂等活性化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 《特別支援事業》60,154千円 《共同制作支援事業》44,753千円(県民ホール分) 《ネットワーク構築支援事業》25,842千円 <p>【その他】日本芸術文化振興会1,861千円 地域創造24,903千円、三菱UFJ信託芸術文化財団800千円、朝日新聞文化財団300千円、野村財団500千円ほか</p>	

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等

5. 利用状況

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
A	

		前々年度	前年度	平成27年度
利用者数※	本館	508,111	367,289	653,996
	芸術劇場	167,485	187,974	199,212
対前年度比	本館		72.3%	178.1%
	芸術劇場		112.2%	106.0%
目標値	本館	449,400	322,800	645,000
	芸術劇場	197,500	170,000	175,000
目標達成率	本館	113.1%	113.8%	101.4%
	芸術劇場	84.8%	110.6%	113.8%

注：県民ホール本館は平成25年度12月～平成26年9月まで、改修工事のため全面休館

目標値の設定根拠： 経営改善目標

利用者数の算出方法（対象）： 主催事業は指定管理者が確認、共催・提携・貸館事業は主催者からの報告による（対象者：施設への来館者、利用者）

[参考：最大利用可能人数／年]

本館

	大ホール	小ホール	会議室	ギャラリー		合計
定員	2,493	433	264	—		
年間利用可能日数	333	340	355	338		
最大人数※1	830,169	147,220	93,720	—	0	1,071,109
稼働率※2	88.89%	90.59%	85.07%	88.34	%	

KAAT

	ホール	大スタジオ	中小スタジオ	アトリエ		合計
定員	1,200	220	—	—		
年間利用可能日数	317	339	356	357		
最大人数※1	380,400	74,580	—	—	0	454,980
稼働率※2	81.70%	84.37%	83.15	82.35	%	

※1 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

※2 稼働率＝利用があった日／年間利用可能日数

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価は施設としての総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	(1) 簡易アンケート 管理施設の窓口等に常時用紙を備え、管理施設の利用者等に対して、簡便な方法で常時実施するアンケート (2) 詳細アンケート 年1回、時期を定めて、より詳細な質問項目のアンケートを、管理施設の利用者等へのアンケート用紙の配布及び管理施設ホームページにおいて実施し、結果を分析するアンケート	【本館】 ・利用者について 有効回答数は33件であった。「施設を利用した全体的な印象」「施設・設備を利用した感想」については「満足」「どちらかといえば満足」や「良い」「どちらかといえば良い」との回答であり、「悪い」「不満足」に属する評価はないことから、概ね評価していただいていることが分かる。「職員の対応」「事務手続き・料金」も「良い」「どちらかといえば良い」が大半を占めた 「今後の県民ホールの利用予定」の設問に対しては、「次回の予定が決まっている」が33%、「検討中」が27%、「未定」が40%であった。
		【芸術劇場】 ・利用者について 有効回答数は計5件であった。（利用者7件中）これまでの利用回数は、「初めて」が2件、「2～4回目」が2件、「5～10回目」が1件であった。「施設を利用した全体的な印象」、「利用した感想」「職員の対応」「事務手続き・料金」については、「良い」「どちらかといえば良い」が大半を占め、利用に関して満足していることがわかる。ホームページについては、すべての回答者が利用前に閲覧しており、その評価は3件が「わかりやすい」、2件が「どちらかというわかりやすい」との回答であった。今後の利用予定については、「検討中」が3件、「次回の予定が決まっている」「未定」がそれぞれ1件であった。今回の芸術劇場の利用の決め手については、「舞台設備」「立地条件」の回答が3件ずつあった。

〔施設としての総合的評価〕

質問内容 今回、施設をご利用いただいた全体的な印象をお聞かせください。

実施した調査の配布方法 用紙配布 回収数/配布数 38 / 69 = 55.1%

配布(サンプル)対象 施設の貸館利用者(公演等の主催者)

		良い	どちらか といえば 良い	どちらか といえば 悪い	悪い	合計	満足、不満に回答があった 場合はその理由
施設としての 総合的評価 の回答数	本館	21	12	0	0	33	
	芸術劇場	3	2	0	0	5	
回答率	本館	63.6%	36.4%	0.0%	0.0%		
	芸術劇場	60.0%	40.0%		0.0%		
前年度の 回答数	本館	24	3		0	27	
	芸術劇場	3	0		0	3	
前年度回答 率	本館	88.9%	11.1%		0.0%		
	芸術劇場	100.0%	0.0%		0.0%		
回答率の 対前年度比		71.6%	327.3%				
		60.0%					

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

〔参考：職員の対応状況〕

質問内容 ご利用当日の職員の対応はいかがでしたか。

実施した調査の配布方法 用紙配布 回収数/配布数 38 / 69 = 55.1%

配布(サンプル)対象 施設の貸館利用者(公演等の主催者)

		良い	どちらか といえば 良い	どちらか といえば 悪い	悪い	合計	満足、不満に回答があった 場合はその理由
職員の対応 状況の 回答数	本館	24	8	1	0	33	
	芸術劇場	5	0	0	0	5	
回答率	本館	72.7%	24.2%	3.0%	0.0%		
	芸術劇場	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
前年度の 回答数	本館	23	4		0	27	
	芸術劇場	3	0		0	3	
前年度回答 率	本館	85.2%	14.8%		0.0%		
	芸術劇場	100.0%	0.0%		0.0%		
回答率の 対前年度比		85.4%	163.6%				
		100.0%					

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：その他]

・前年度は選択肢を「良い」「ふつう」「悪い」の3択としていた。このため前年度実績については、「ふつう」を「どちらかというが良い」と読み替えて記載している。
 ・利用者以外を対象としたアンケート（施設としての総合評価の満足の割合（%）/職員の対応状況の満足の割合（%））
 ①来館者アンケート（主催・共催事業）、配付：[本館]13,143件、[KAAT]12,070件、回答：[本館]406件、[KAAT]814件（97.7%/98.2%）
 ②来館者アンケート（貸館）配付：不明、回答：[本館]77件、[KAAT]14件（90.8%/96.5%）
 ③WEBアンケート：回答：[本館]1件、[KAAT]2件（100%/66.7%）

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

【本館】

(単位:千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳			支出	収支差額
前々年度	当初予算	576,153	174,083	110,555	備考のとおり	860,791	860,791	0	100.00%
	決算	576,153	186,172	136,951	備考のとおり	899,276	899,266	10	100.00%
前年度	当初予算	592,464	119,109	302,960	備考のとおり	1,014,533	1,014,533	0	100.00%
	決算	592,464	131,559	336,123	備考のとおり	1,060,146	1,085,251	-25,105	97.69%
27年度	当初予算	604,304	252,000	241,927	備考のとおり	1,098,231	1,098,231	0	100.00%
	決算	604,304	247,139	237,119	備考のとおり	1,088,562	1,056,556	32,006	103.03%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数 (単位:千円)
 27年度 / 0 前年度 / 0 前々年度 / 0

<備考>
 【その他収入の内訳】
 (前々年度・当初予算) 事業収入：60,352、立替収入：29,869、補助金等収入：17,984、寄付金収入：2,000、本部繰入金収入：350
 (前々年度・決算) 事業収入：63,625、立替収入：38,726、補助金等収入：28,734、負担金収入：2,174、寄付金収入：2,100、雑収入：182、本部繰入金収入：350、特定資産取崩収入：1,060
 (前年度・当初予算) 事業収入：73,772、立替収入：6,168、補助金等収入：118,000、負担金収入：82,500、寄付金収入：2,000、本部繰入金収入：350、特定資産取崩収入：20,170
 (前年度・決算) 事業収入：73,868、立替収入：14,377、補助金等収入：128,715、負担金収入：52,966、寄付金収入：2,020、雑収入：1,499、本部繰入金収入：350、特定資産取崩収入：62,328
 (27年度・当初予算) 事業収入：86,514、立替収入：41,363、補助金等収入：44,000、寄付金収入：2,000、本部繰入金収入：1,050、特定資産取崩収入：67,000
 (27年度・決算) 事業収入：91,449、立替収入：25,559、補助金等収入：49,553、寄付金収入：2,118、雑収入：390、本部繰入金収入：1,050、特定資産取崩収入：67,000
 ※平成26年4月1日より消費税率改定(5%→8%)
 ・平成25年度12月～平成26年9月まで、改修工事のため全面休館

【KAAT】

(単位:千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳			支出	収支差額
前々年度	当初予算	596,754	95,787	261,103	備考のとおり	953,644	953,644	0	100.00%
	決算	596,754	92,090	250,460	備考のとおり	939,304	939,304	0	100.00%
前年度	当初予算	601,464	83,624	279,908	備考のとおり	964,996	964,996	0	100.00%
	決算	601,464	93,368	312,888	備考のとおり	1,007,720	1,007,710	10	100.00%
27年度	当初予算	601,464	85,297	611,736	備考のとおり	1,298,497	1,298,497	0	100.00%
	決算	601,464	94,188	539,274	備考のとおり	1,234,926	1,234,910	16	100.00%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数 (単位:千円)
 27年度 / 0 前年度 / 0 前々年度 / 0

<備考>
 【その他収入の内訳】
 (前々年度・当初予算) 事業収入：203,130、立替収入：8,425、補助金等収入：32,548、寄付金収入：5,000、特定資産取崩収入：12,000
 (前々年度・決算) 事業収入：160,234、受託収入：210、立替収入：8,978、補助金等収入：56,512、寄付金収入：2,400、雑収入：126、特定資産取崩収入：22,000
 (前年度・当初予算) 事業収入：193,398、立替収入：6,191、補助金等収入：52,019、寄付金収入：4,300、特定資産取崩収入：24,000
 (前年度・決算) 事業収入：214,942、受託収入：9,598、立替収入：9,745、補助金等収入：47,569、負担金収入：249、寄付金収入：5,825、雑収入：160、本部繰入金：800、特定資産取崩収入：24,000
 (27年度・当初予算) 事業収入：469,082、立替収入：6,191、補助金等収入：44,900、負担金収入：3,500、寄付金収入：2,000、特定資産取崩収入：86,063
 (27年度・決算) 事業収入：360,401、受託収入：892、立替収入：13,517、補助金等収入：48,133、負担金収入：25,572、寄付金収入：4,519、雑収入：177、特定資産取崩収入：86,063
 【収支の変更】
 ※平成26年4月1日より消費税率改定(5%→8%)

【合計】

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	1,172,907	269,870	371,658	備考のとおり	1,814,435	1,814,435	0	100.00%
	決算	1,172,907	278,262	387,411	備考のとおり	1,838,580	1,838,570	10	100.00%
前年度	当初予算	1,193,928	202,733	582,868	備考のとおり	1,979,529	1,979,529	0	100.00%
	決算	1,193,928	224,927	649,011	備考のとおり	2,067,866	2,092,961	-25,095	98.80%
27年度	当初予算	1,205,768	337,297	853,663	備考のとおり	2,396,728	2,396,728	0	100.00%
	決算	1,205,768	341,327	776,393	備考のとおり	2,323,488	2,291,466	32,022	101.40%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数 (単位:千円)

27年度 /	0	前年度 /	0	前々年度 /	0
--------	---	-------	---	--------	---

<備考>

【その他収入の内訳】

(前々年度・当初予算) 事業収入: 263,482、立替収入: 38,294、補助金等収入: 50,532、寄付金収入: 7,000、本部繰入金収入: 350、特定資産取崩収入: 12,000

(前々年度・決算) 事業収入: 223,858、受託収入: 210、立替収入: 47,704、補助金等収入: 85,247、負担金収入: 2,174、寄付金収入: 4,500、雑収入: 308、本部繰入金収入: 350、特定資産取崩収入: 23,060

(前年度・当初予算) 事業収入: 267,170、立替収入: 12,359、補助金等収入: 170,019、負担金収入: 82,500、寄付金収入: 6,300、本部繰入金収入: 350、特定資産取崩収入: 44,170

(前年度・決算) 事業収入: 288,810、受託収入: 9,598、立替収入: 24,122、補助金等収入: 176,284、負担金収入: 53,216、寄付金収入: 7,845、雑収入: 1,658、本部繰入金収入: 1,150、特定資産取崩収入: 86,328

(27年度・当初予算) 事業収入: 555,596、立替収入: 47,554、補助金等収入: 88,900、負担金収入: 3,500、寄付金収入: 4,000、本部繰入金収入: 1,050、特定資産取崩収入: 153,063

(27年度・決算) 事業収入: 451,850、受託収入: 892、立替収入: 39,076、補助金等収入: 97,686、負担金収入: 25,572、寄付金収入: 6,637、雑収入: 567、本部繰入金収入: 1,050、特定資産取崩収入: 153,063

※平成26年4月1日より消費税率改定 (5%→8%)

[参考: 県が支出した修繕工事費] ※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))
2015年12月	4,612	県民ホール本館展示室他塗装工事(4,612(千円))

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等: 1,000千円以上)

[参考: 資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内容(金額(千円))
収入		
支出		
積立		

8. 苦情・要望等

【本館】

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

【KAAT】

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	電話 1件	幕間に喫煙できる場所があると思って訪れたが無かった為、気分を害し帰宅した。喫煙所が無い旨をWebサイトで告知すべきである。劇場内に喫煙所を設けて欲しい。	喫煙所がない旨をWebサイトのフロアマップページにも掲載する。
	文書 12件	レストランが閉店しており不便である。飲食可能な施設が少ない。	2016年4月にレストランが新規オープンした。館としても周知に協力していく。
職員対応	メール 1件	ホール公演観劇の際、ピュッフェのスタッフに舌打ちをされ、大変不愉快な思いをした。	業者に対して指導を行った。
事業内容	文書 5件	チケット料金が安い(3件)パンフレット料金が安い(2件)	今後の事業計画において検討していく。
その他	電話 1件	提携公演(渋さ知らズ)に関し、時期の近い公演であるにも関わらずKAAT Webや広報誌、メルマガでの情報案内が不十分である。	提携先との情報連携を密に行い、最新情報を掲載できるよう努めていく。

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等) ②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等) ③責任の所在及び現在の状況
【本館】 4月4日(土)	小ホール公演中、照明のレンズ保護網が客席に落下。来館者への被害なし。	経年劣化による金網のゆがみにより、取付器具から脱落したことが原因と推測される。	①4日(土)～6日(月)にかけて小ホール及び大ホールの同型照明の点検を実施したうえで、20日(月)～23日(木)に大ホール・小ホールの同様の固定金具について予防交換を行った。 ②報告後、再発防止のため、機器の点検など十分配慮するよう注意を行った。 ③機器の経年劣化により発生した事象。現在は、点検を行い、脱落の恐れがある金網は指定管理者が交換済。
【本館】 9月23日(水祝)	ギャラリー第5展示室の照明機材の電球のカバーが落下。当時は神奈川県美術展公開中であったが、作品や鑑賞者に被害はなし。	電球を覆う照明器具により熱が中にもこもり、接着部が緩んでくる可能性があることが判明。	①今後も同様の事故が発生する可能性が予想されるため、順次部品を交換している。 ②報告後、再発防止のため、再度機器の点検を行うよう依頼。 ③機材の構造上経年劣化によるものであり、指定管理者が順次交換を行っている。
【芸術劇場】 6月6日(土)	ホール主催公演を上演中、幕裏での場面転換時に大きな音が発生し、下降途中の舞台セットの吊り物パネルが折れ大きく損傷。場面転換が出来ず、上演を一時中断。損傷部分を取り外してパネルを復帰し、約20分後公演を再開。この事故による怪我人等はなし。	非常に暗い中での場面転換時、下降してきた吊り物パネルが、下手袖から差し入れられた別の舞台セットに接触。本来は、吊り物パネルの着地完了確認後に差し入れられる手順であった。直近にいた本番舞台スタッフの、場面転換の手順ミスと考えられる。	①終演後、破損パネルの応急修理、全てのワイヤー結束部の安全確認と補強作業を実施。翌日の上演前に、再度修理と吊物全体の点検を行うとともに、暗闇での作業のため、LEDマーカをパネルの背面に取り付ける措置を講じた。さらに事故後、舞台監督やカンパニーともより確かな安全管理を行うよう注意喚起を行った。 ②原因の究明と、再発防止を徹底するよう指導した。 ③指定管理者が舞台操作を委託しているスタッフの操作・判断ミスが直接的原因と思われる。再発防止のため、手順・操作の誤りがないう、注意喚起を徹底して行っている。
【芸術劇場】 9月20日(日)	ホール公演(貸館)終了後の搬出中、1階ホールローディングにて搬出トラックと誘導者の接触事故が発生。誘導中、シャッター小扉の柱とトラック車両後部の間に誘導者の左腕がはさまれ出血した為、救急車で搬送。(運転手、誘導者ともに、ホール利用者側のスタッフ)診察の結果、誘導者に骨折等の大怪我はなく大事には至らなかった。	誘導者が、運転者から完全な死角となる場所で誘導を行っていたことに加え、建物・車両と自分の位置関係の目測を見誤ったことが原因と考えられる。	①貸館利用者起因する事故ではあるが、指定管理者として、怪我人の対応等を行った。 ②報告を受けて、同様の事故が起きないように、利用者に対して注意喚起の徹底を依頼した。 ③運転手、誘導者ともに、貸館利用者側のスタッフであった為、利用者間で処理対応を行った。現在は、本件の事例を踏まえて、他団体に対しても、同様の事故を防ぐよう注意喚起を行っている。
【芸術劇場】 12月3日(木)	中小スタジオにて、主催公演出演者がダンスの自主稽古中に、稽古用仮大道具の台組(2.3m)のセットより足を滑らせ落下した。左腰と右腕を強打したため、アイシングの氷で応急処置し、救急車を要請した。診断の結果、幸い打撲のみであった。	落下が起きた箇所は、ポールダンスを行うエリアとして演出上の要請で、セットの高台の中で唯一手すりがないエリアだった。	①事故後の検討により、当該箇所にも手すりを取り付けた。 ②報告を受けて、同様の事故が起きないように、安全対策への配慮を指導した。 ③自主練習中ということもあり、出演者自身の不注意によるところが大きい。指定管理者が実施する公演の稽古場で発生した事故なので、今後はより安全管理に留意し、注意喚起を行っていく。

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したもので、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無し	
職員の配置体制	無し	
労働時間	有り	(平成26年度を対象とした包括外部監査指摘事項での指摘) 神奈川芸術劇場では、恒常的に時間外労働が行われており、労使協定に違反する。また、恒常的に休日勤務が行われており、振替休日を取得していないケースが多数見られ、労働基準法及び就業規程に違反する。
職場環境	無し	

※指摘事項は、県による監査(包括外部監査含む)又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。